

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	1	事業名	芝山町特定環境保全公共下水道事業			路線又は箇所名等			小池処理区	
事業所管轄		都市計画課			事業主体			芝山町		
事業化年度	H10	用地着手年度	H10		工事着手年度	平成 10 年度		再評価の理由	採択後、10年間経過し、継続中の事業	
				工事終了年度	平成 27 年度					
費用便益比 (B/C)	1.42	総費用	8,255	総便益	11,755	基準年	H19	供用開始年度	H17	

【事業概要】

芝山町の下水道事業は、平成 5 年度に下水道事業を実施していくための基本方針となる「芝山町下水道基本構想」を策定した。この基本構想では、本町の中心市街地で周辺部の既存住宅団地、及び工業団地などが立地している小池地区及び他 1 箇所を公共下水道の整備区域として位置付けた。

小池処理区の全体計画面積 212ha とし、平成 7 年度に「下水道事業基本計画」を策定。平成 10 年 10 月に中心市街地他 50.0ha の区域において、特定環境保全公共下水道の事業認可を受け、事業に着手した。その後、78.0ha の区域拡大を図り、現在では 128.0ha の事業認可区域となっている。平成 17 年 3 月に終末処理場が完成し、芝山町の公共下水道が供用開始となった。

・総事業費 70.6 億円 ・事業期間 平成 10 年～平成 27 年

【事業の進捗状況】

平成 10 年度から管渠整備に着手し、平成 19 年 3 月末現在で全体計画面積の 29.6% (62.7ha/212ha) が整備完了し、水洗化率は 60.6% (水洗化人口 713 人/整備人口 1,177 人) に達しており、平成 27 年の整備完了を目指して順調に推進している。

【社会経済情勢等】

社会経済情勢の著しい変化はない。

【対応方針(案)】

1) 事業の必要性の視点

芝山町においては、空港をはじめとする各種の公共施設整備が徐々に進捗を遂げている状況の中で、都市の基盤施設である下水道は「生活環境の改善及び公共用水域の水質保全」を図る重要な役割を担っております。

当町の河川が流れつく九十九里海岸は、千葉県立自然公園としての位置づけがされており、「九十九里自然環境の保全」という観点も非常に重要なものと考えており、今後も引き続き下水道事業の整備拡充が求められている。

2) 事業進捗の見込みの視点

住民の協力、理解を得ながら事業は順調に推移しており、今後の事業進捗にあたっては、特段支障はないものと考えられる。

3) コスト縮減や代替案の可能性による視点

事業計画策定時および工事発注時における段階から経済的な事業実施に努めている。また、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る観点から、小池処理区に関しては、下水道における費用対効果が図られていることから、他の手法と比較して下水道による汚水処理がより経済的・効率的整備手法である。よって、現計画は妥当であると考えられる。

